

令和2年度 山形県立高畠高等学校

入学式 式辞

校舎から見える山々の雪も解け、小川のせせらぎとなって大地を潤し、花々の香りを運ぶ風に心地よさを感じる季節となりました。

このような美しい春の佳き日に、本来ならば来賓の方々を始め保護者の皆様とともに新入生の皆さんを迎えるはずでありましたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、通常の入学式よりも簡潔な式とせざるを得ないことは誠に残念であります。しかしながら、令和2年度の新入生の皆さんを山形県立高畠高等学校へ迎えられますことは、私どもにとって大きな喜びであります。

ただいま、入学を許可した 93 名の新入生のみなさん入学おめでとう。心から歓迎いたします。

また、今回の入学式には参加を見送らせていただきました保護者の皆様、お子様の御入学、誠におめでとうございます。これまでお子様を育ててこられました皆様の御尽力に衷心より敬意を表すとともに、私共教職員に課せられた責任の重さに身の引き締まる思いでございます。お子様に寄せる思いを真摯に受け止め、私共教職員は、お子様の大いなる成長を目指して教育活動に取り組んでまいります。どうぞ、本校の教育活動に御理解、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



さて、義務教育を終えた皆さんは今まさに、「新たな学びの入り口」に立っています。そしてこの新たな学びには、三つの学びがあることを覚えておいてください。

一つ目の学びは「自立のための学び」です。生きていくために必要な人生の基礎や社会における原理原則を学びます。「自立のための学び」は「成人として生きていくための学び」でもあります。2年後の2022年4月から成人年齢が18歳に引き下げられることになっていきますから、皆さんにとってこの学びはこれまでのどの高校生よりも密度の濃い学びとなることと思います。

二つ目の学びは、自分の職業を選択するための学びであり、選択した職業に生かすための知識や考え方、表現の仕方を学ぶ、「働くための学び」です。先ほどの「自立のための学び」と「働くための学び」によって、人は暮らしていくことができます。

三つ目の学びは、「幸せな人生をおくるための学び」です。

人は何千年も前から「幸せな人生をおくること」を永遠のテーマにしてきました。人生が思うままにいくことはほとんどなく、しばしば予期せぬことに巻き込まれたり、時には今回のウイルス感染のような大災害が降りかかり、多くの犠牲を強いられ、厳しい現実を見せられるのです。そのような厳しい現実と直面しながらも人類は「幸せな人生を送ること」を求め、試行錯誤を繰り返し、長い歴史

の中で戦い続けてきました。その中で人類が到達した「幸せな人生をおくるため」の答えは、「他人を思いやること」、つまり、「自分以外の人へ向けられた愛がなければ、自分自身が幸せになれない」ということでした。その結果、「宗教」というものが生まれました。あるいは、国家というものを造って「社会制度」というものも創り出しました。家族を含めた周りの人々、社会全体の人々を思いやる気持ちがあって、他の人々と喜びを分かち合い、他の人の笑顔を見ることで初めて自分が幸せになるものだ気づいたのです。この他人への愛、つまり「他人の心の中を思いやること」を中国の思想家、孔子は「仁」と呼び、孔子の教えを記した『論語』の中で彼は、学ぶことの到達点は「仁」である。つまり、学ぶことは他人の心中を思いやることに至って初めて本物になるのだと説いています。

この三つの学びが、皆さんが歩み始めようとしている高校の学びです。学びこそが幸せに生きるために人間が到達した道なのです。これからの3年間を充実させ、大いなる学びの時間としてください。

一方で、皆さんは青春のど真ん中に立っています。しなやかで若々しい体の中に、不安定ではあるけれども瑞々しく感受性の高い「心」がアンバランスな状態で存在しているのではないのでしょうか。

この不安定な、しかし感受性あふれるこの時期にこそ作ってほしいものがあります。それは「親友」です。一般的には「親しい友」と書きますが、「親友」とは親しいだけでなく「真の友」であり「信頼できる友＝信友」のことです。そして信頼できる友を見つけるために、あなた自身が「信用される人」になってほしいと願います。もちろん信用されるというのは、決して「言うなりになる」ことではなく、「互いを互いにリスペクトできる間柄」であるということです。

皆さんは高畠高校第98回目の新入生です。2年後に迎える創立100周年には最上級生になる年次です。皆さんが充実した3年間を送り、高畠高校の次の100年のための橋渡し役を担ってくださることを願います。

新たな気持ちで高畠高校の門をくぐった皆さんには、ひとり一人の高校時代が始まります。今日は、新しい学びの始まる日であり、また、信頼できる友、一生付き合える本当の友人との出会いが始まる日なのです。

改めて、「入学おめでとう。皆さんとの出会いに感謝します。」

令和二年四月二十二日

山形県立高畠高等学校
校長 遠藤 淳一